

昨年の市議選から早いもので一年が経とうとしています。二期目を迎え一期四年間で私が提案してきた行政やまちづくりの課題も着々と解決に向け成果が見えてきました。

私は、市議会議員として草加市政に携わるようになってから、一貫して市民の望んでいることを基本に、その都度、是々非々の判断で議会やあらゆる場面で対応してきました。

今回、私の議会報告を皆さんにお届けします。草加市政が今、どんな問題に直面し、いかに解決しているのか、その実績をみて頂きたいと思っています。そして、気づいたこと、ご意見、ご提案がありましたら、是非お寄せいただきたいと思います。

引き続き「草加に生まれてよかった、草加に住んでよかった」と言っていただけのまちづくりに取り組んでまいります。



草加市議会議員
せき かずゆき
関 一幸

草加市9月定例議会への提出議案について

H23一般会計 補正予算

効率的な行政執行や地方交付税の増額などの結果、約30億円の歳入増が見込まれるため、草加市被災者支援基金を活用した生活支援事業を実施するほか、市内リフォーム補助金や太陽光発電システム設置補助金の増額補正が計上されています。また、各基金への積み増しが行われます。

《増額補正》

①市内リフォーム補助事業（緊急経済対策）

→認定されたリフォーム施工業者で、市内の建物・付属設備の改築を行う場合、契約金額の20%（上限10万円）が、補助金として施工業者に交付されます。当該補助金額分が、発注者に値引きされます。

（補正内容）160件分：1,200万円 追加

②太陽光発電システム設置補助金（資源・エネルギー有効活用推進事業）

→環境共生都市として、自然エネルギーの有効利用を促進するため、太陽光発電システムを設置する方に、1件当たり35,000円を上限として補助金を交付します。国や県の補助金と併用すれば、34万円の補助金が受けられます。

（補正内容）180件分：630万円 追加

《土地開発公社への貸付・各基金への積立》

「財政」は現在の市民サービスの向上はもちろん、将来世代に過重な負担を残さないことも求められます。平成23年度9月補正予算では、こうした考え方のもとに、土地開発公社の返済、公共施設の改修を計画的に行うための公共施設整備基金、災害時などに対策の拠点となる市役所建替のための庁舎建設基金などに積立を行います。

①公共施設整備基金・・・3億円積立 基金残高：4億円

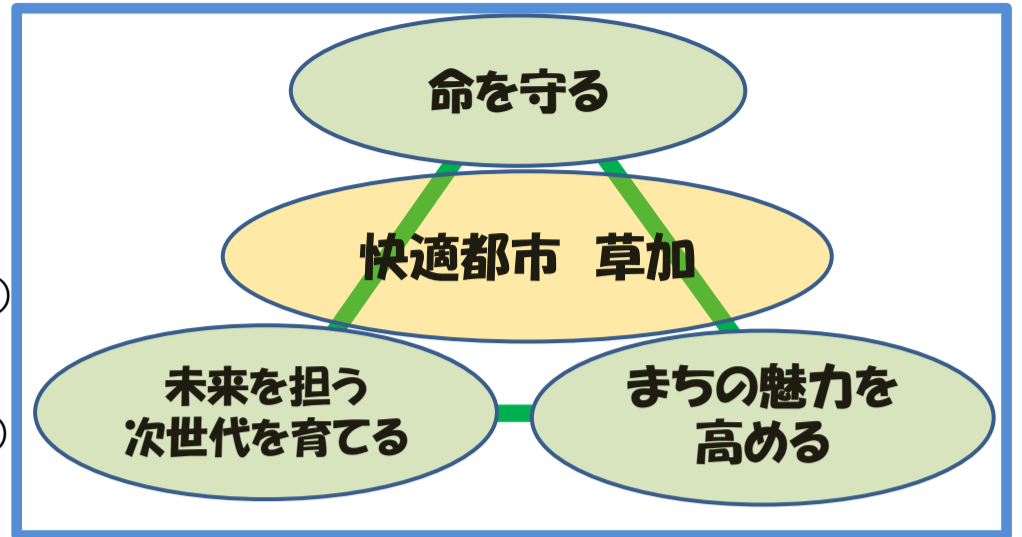
②庁舎建設基金・・・5億円積立 基金残高：5.1億円

③土地開発公社・・・11億円の長期借入金を返済 銀行からの長期借入金残高：0円

草加市の 放射線量測定

草加市では、市民の皆様にきちんと情報を提供するため、独自に放射線量の測定等を行っています。測定結果については、随時草加市ホームページに掲載されていますので、下記アドレスからホームページをご覧ください。【<http://www.city.soka.saitama.jp>】

平成23年度主要事業



《命を守る》

- 予防接種事業（子宮頸がんワクチン等の無料接種）
- (仮称)新医療センター建設（H24.4.1開所予定）
- (仮称)消防谷塚ステーション（H24.4.1開所予定）

《未来の担う次世代を育てる》

- 小中学校校舎等耐震補強事業（平成24年度までに、市内全校の耐震補強工事を実施予定）
- 保育園の増設・充実（平成23年度：新設認可保育園 4園 1分園：定員315人）
- 幼稚園就園奨励費補助金（E階層対象分）の復活

《まちの魅力を高める》

- 商工会議所・商店連合事業協同組合との連携による地元経済の活性化
※緊急経済対策事業として、市内リフォーム補助事業が実施されています。
- 都市基盤整備・公園の充実
 - ・新田駅西口土地区画整理事業：平成32年度の事業完了を目指しています。
 - ・新田駅東口市街地整備事業：事業化に向けた、各種調査を実施しています。
 - ・草加松原団地近隣公園整備事業：草加松原団地建替えにあわせ、都市公園が整備されます。

市内循環コミュニティバスについては、庁内検討会を設置し、導入に向けた検討が行われています。また、中学校までの子ども医療費無料化や小中学校へのエアコン設置等についても、現在検討されています。

東日本大震災・福島第一原発事故に伴う草加市の対応

草加市被災者支援基金の設置

大規模な災害による被災者の支援に要する費用に充てるため、草加市が2,000万円を拠出して、基金を創設しました。市民・団体の皆様からの寄附も積み立て、被災者支援に活用します。

すでに500万円を超える寄附をいただいています

○被災地へのボランティア活動支援

- ◆草加市社会福祉協議会が、8月2日(火)に実施した、石巻市でのボランティア活動（参加者35名）の費用に基金を活用しました。今後も、被災地でのボランティア活動を支援するため、9月定例会において、771千円の補正予算が計上されています。
- ◆市民の皆様から提供いただいた物資を含め、3,890箱相当の救援物資が被災地へ送られています。

○草加市に避難している被災者の方への支援

- ◆東日本大震災により、草加市には94世帯・223名の方が避難しています。
 - ・旧花栗小学校を避難所として開設（6/25閉鎖）
 - ・草加松原団地の空き住戸等（16戸）を避難者へ提供（エアコン、湯沸器、カーテンも設置）
 - ・避難者及び避難者を受け入れている世帯の上下水道料金は、全額または一部免除
- ◆草加市に避難している被災者の方々に対し、基金を活用した生活支援を行います。
 - ・生活支援一時金 一人当たり10,000円等 約400万円の補正予算が計上されています。